

平成 26 年 4 月 4 日

報道関係者各位

国立大学法人 筑波大学

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」採択事業  
国際協力型がん臨床指導者養成拠点

## がん治療の解説を動画で一般公開します ～症例や治療方法を専門家がわかりやすく説明～

国立大学法人筑波大学(以下、「筑波大学」という)をはじめとする 8 大学は、「国際協力型がん臨床指導者養成拠点\*1」の活動の一環として、がん治療に関する解説の動画を、「がんプロ×OCW(オープンコースウェア)\*2～動画で分かる、がん治療～」ウェブサイト(<http://kanto-kokusai-ganpro.md.tsukuba.ac.jp/cateid-ocw-top>)において、3月31日より一般公開いたしました。

第一弾は、「肝細胞がん」を特集しています。肝臓は、“沈黙の臓器”と呼ばれており、肝臓がんはがんによる死因の第4位です。再発が多い病気と言われていますが、様々な治療法があり、生存率は改善してきています。本サイトでは、肝臓がんの原因や治療法について、筑波大学医学医療系などの5人の専門医が、それぞれ10分程度の動画でわかりやすく解説しています。

本サイトは、主に患者さんやそのご家族の方を対象に、主要ながんの概要や典型的な症例、治療方法を、がんの専門家が説明するもので、身近な人が“がん”に罹患した際、どのような治療法があるのかをわかりやすく伝えることに主眼をおいています。今後、肺がん・乳がん・胃がん・大腸がんなどについても順次、掲載していく予定です。

この活動は、「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」が行う、がん医療・研究のプロフェッショナル人材を養成するための教育プログラムの一部を、OCWとしてウェブ上で無償で一般公開するものです。企画・運営に大学院生が参画し、患者さん目線に立ったコンテンツ作りを目指しています。

### \*1 国際協力型がん臨床指導者養成拠点

文部科学省が、高度ながん医療・がん研究等を実践できる優れた専門医療人を養成することを目的に実施する「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業に、筑波大学・千葉大学・群馬大学・埼玉医科大学・日本医科大学・獨協医科大学・茨城県立医療大学・群馬県立県民健康科学大学が共同で申請し、採択された取り組み。平成24年度より、8大学が連携し、国際的な視野を持った多職種のがん専門医療人養成を目指して、様々な活動を進めています。

(参考) <http://kanto-kokusai-ganpro.md.tsukuba.ac.jp>

### \*2 OCW(オープンコースウェア)

大学や大学院などの高等教育機関で行われている正規の教育プログラムや特別講義などの教材(授業資料や講義映像など)や関連情報を、インターネット上で無償公開する活動。申し込みや登録は不要で、誰でも自由に利用することができます。日本では2005年ごろから各大学で実施されています。

(参考) 筑波大学オープンコースウェア TSUKUBA OCW <http://ocw.tsukuba.ac.jp>

<問い合わせ先>

筑波大学 医学医療エリア支援室

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局

Tel: 029-853-7315/7316

Email: ganpro-jimukyoku@un.tsukuba.ac.jp